※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０２

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「公共」（東京書籍）						
副教材等	最新公共資料集（第一学習社）　用語集 公共 23－24 年版（清水書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会の諸課題について、現実社会で起こっていることを理解するために必要な知識と技能をみにつけ、その解決に向けた方法を考えることができることをめざします。
講義形式だけでなくグループ学習などの学習活動を行い、ものごとを多面的、多角的に考察し、公平・公正に判断する力を育みます。
日ごろから、マスメディアで報道される時事的な課題に関心を持ち、調べたり、論点を見出したりすることに努めてください。

2　学習の到達目標

① 公共空間における主体として、現代の諸課題について深く考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念をみにつけ、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能をみにつけます。
② 現実社会の諸課題について、事実を基に多面的・多角的に考察し公平・公正に判断する力や、議論し合意形成をはかり、よりよい社会の実現に向けて現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養います。
③ 公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、平和を尊び、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	公共空間における主体として、現代の諸課題について深く考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念をみにつけ、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能をみにつけている。	現実社会の諸課題について、事実を基に多面的・多角的に考察し公平・公正に判断し、また、議論によって、合意形成をはかり、よりよい社会の実現に向けて現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、よりよい社会の実現のために、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等をみにつけたりすること向けて努力をしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	社会のなかの自己	１現代に生きる青年 青年期の特徴や発達課題の理解を手がかりに、青年期に生きる自己形成の課題について考察し、キャリア開発の意義，社会参画やシティズンシップについて理解する。 青年期の自己形成の課題について考察する。 ２社会的な関係の中で生きる人間 カント、ミル、アーレント、ハーバーマス、和辻哲郎の思想、考え方を理解し、個人と社会の在り方について考察する。 ３伝統文化の中の人間 丸山真男の考え方、「公」「私」のとらえ方などを手掛かりに伝統・文化との関係を理解し、そこにおける課題を考察する。	a:青年期について基本的な知識がみについている。考察のための資料を適切に選択し、情報を得ることができる。 b:青年期について、多角的に考察し、判断できる。意見を交換し、より深い理解を追求できる。 c:青年期を生きる人間として、自己を見つめ、社会との関係について理解を深め、課題について主体的に取組としている。	考査 小テスト	考査 小テスト	ワークシート レポート 感想文

※令和４年度以降入学生用

	共に生きるための倫理	１功利主義と幸福の原理 行為の判断や選択の場面を想定し、目的論と義務論の区別について理解する。功利主義の快楽や幸福の考え方を、経済や福祉政策などを事例に理解する。 善や幸福を、人間が徳を備えることに求める考え方を理解する。思考実験を用いて選択・判断とその理由について考察する。 ２義務論と公正の原理 カントの考え方を理解する。社会的不公正の是正について，社会保障政策などを手がかりにロールズの考え方を理解する。思考実験を用いて選択・判断とその理由について考察する。	a:功利主義、義務論、公正の原理について基本的な知識がみについている。考察のための資料を適切に選択し、情報を得ることができる。 b:善、幸福、義務論、社会的不平等について、思考実験を用いるなどして、多角的に考察し、判断できる。意見を交換し、より深い理解を追求できる。 c:功利主義と幸福の原理、義務論、正義の考え方について理解を深め、課題について主体的に取組としている。	考査 小テスト	考査 小テスト	ワークシート レポート 感想文

※令和４年度以降入学生用

	私たちの民主的な社会	１公共的な空間における協働とは 市場機構における財やサービスの配分が社会の利害調整の役割をしていることに気付く。国家による調整は、立憲主義に基づく手続きによることを理解する。 ２民主主義とは 社会における意見調整、意思決定における民主主義の意義について、その手続き、方法を理解するとともにその課題について考察する。 ３立憲主義とは 法の支配、近代立憲主義の意義について歴史的背景も踏まえながら理解する。立憲主義と民主主義の緊張関係の意味について理解する。 ４人権保障の意義と展開 中学校社会科での学習も踏まえながら法の支配や立憲主義の意義について，基本的人権の尊重や権力の濫用防止の観点から理解します。	a:市場機構による財・サービスの配分、国家による調整について基本的な知識、人権保障の本質的な理解がみについている。 考察のための資料を適切に選択し、情報を得ることができる。 b：価値の配分についての民主主義の手続きや方法、立憲主義との緊張関係について、思考実験を用いるなどして、多角的に考察し、判断できる。意見を交換し、より深い理解を追求できる。 c:民主主義について理解を深め、課題について主体的に取り組もうとしている。	考査 小テスト	考査 小テスト	ワークシート レポート 感想文

※令和４年度以降入学生用

	民主政治と私たち	１民主政治と地方自治 国や地方の政治に民意を反映させる制度について、理解します。選挙による方法、国民投票による方法について、民意を反映させる点でどのような特徴や課題があるか、20 世紀の歴史を踏まえ考察します。 ２国会と内閣 三権分立、国会と内閣の組織と権限について、日本国憲法を参照しながら理解する。国会と内閣の働きについて実際の政治事象を参考に理解する。 ３政治参加と選挙 18 歳選挙権を踏まえたうえで、近代の選挙の原則の重要性を確認するとともに、日本の選挙制度について、近年の実施例なども取り上げながら、具体的に理解する。	a:政治の働き、民主主義について理解している。 国と地方自治の原則、三権分立について理解がみについている。考察のための資料を適切に選択し、情報を得ることができる。 b:政治の働き、民主主義について、三権分立や地方自治など現実の政治を参考にしながら、思考実験を用いるなどして、多角的に考察し、判断できる。意見を交換し、より深い理解を追求できる。 c:民主政治について理解を深め、課題について主体的に取組としている。	考査 小テスト	考査 小テスト	ワークシート レポート 感想文

※令和４年度以降入学生用

後期	法の働きと私たち	１法の成立、法や規範の意義と役割 法と道徳や慣習など理解しする。公共的な空間における、道徳やマナーと法的ルールについて、事例をあげて理解する。 ２市民生活と私法 民事裁判、刑事裁判の特色について理解する。 ３司法の仕組みと役割、司法参加の意義 司法権の独立を確保するための日本国憲法の規定、三審制や裁判の原則公開、国民審査などの制度の意義について理解する。違憲審査権がなされた事例を通じてその意義に気付く。裁判員制度について理解する。	a:法の特色、法の役割、日本国憲法、違憲審査、裁判員制度について理解している。考察のための資料を適切に選択し、情報を得ることができる。 b:法の特色、法の役割、日本国憲法、裁判員制度を含む司法制度について、思考実験を用いるなどして、多角的に考察し、判断できる。意見を交換し、より深い理解を追求できる。 c:法の特色、役割、日本国憲法、裁判員制度を含む司法制度について理解を深め、課題について主体的に取組としている。	考査 小テスト	考査 小テスト	ワークシート レポート 感想文

※令和４年度以降入学生用

	経済社会で生きる私たち	１現代の経済と市場 経済にかかわる基本概念、経済主体の活動と相互の関係を理解する。市場メカニズムとその限界を理解し政府の役割について理解する。 経済指標の意義とその活用について理解する。GDPの意義とその限界に気づく。 景気変動が人々の生活に及ぼす影響を考察する。 ２市場経済における金融の働き 通貨制度、金融システム、金融市場と金利の働きと金融機関の業務を理解する。 中央銀行の役割と金融政策について理解し、金融の自由化とその課題について考察する。 ３財政の役割と持続可能な社会保障制度 財政の３つの役割とその仕組み、租税法律主義について理解する。課税の原則、租税の種類、国債の役割などについて理解する。 社会保障制度の意義と歴史、実際の生活とのかかわりを理解する。少子高齢化社会に向けて今後の社会保障について諸外国の例を参考に考察を深める。	a:経済・金融・財政の基本的概念を理解している。考察のための資料を適切に選択し、情報を得ることができる。 b:経済・金融・財政にかかわる概念、指標を使って経済主体による経済活動と人々の生活について多角的に考察し、判断できる。意見を交換し、より深い理解を追求できる。 c:経済活動と人々の生活、中央銀行と政府の経済活動とのかかわりについて理解を深め、課題について主体的に取組としている。	考査 小テスト	考査 小テスト	ワークシート レポート 感想文

※令和４年度以降入学生用

	私たちの職業生活	１働くことの意義と職業選択日本政府がめざす新しい社会「societｙ 5.0」について理解する。産業構造の高度化技術革新の進展が労働生活に及ぼす影響について多面的に考える。 ２労働者の権利と雇用・労働問題 資本主義社会における労働契約の特性、労働者の権利と労働三法の内容、労働基準法の定める労働条件の最低条件について具体的に理解する。「過労死」「ブラック企業」男女格差など労働内かかわる様々な課題について具体的な事件などを通して理解し、ワークライフバランスの問題について考察する。	a:産業構造の変化と技術革新の進展が労働者に及ぼす影響と、労働者の権利・労働三法について理解している。 b：資本主義社会の変化と労働契約の特性、労働条件について多角的に考察し、判断できる。 意見を交換し、より深い理解を追求できる。 c:資本主義社会の変化と人々の生活、労働者の権利について理解を深め、課題について主体的に取組としている。	考査 小テスト	考査 小テスト	ワークシート レポート 感想文

※令和４年度以降入学生用

	国際社会の中で生きる私たち	１国際社会のルールとしくみ国際社会の成立、国際法の意義、国際連合の役割、国際社会の主体の変化について理解し、核問題を含む平和と安全についての意義と課題について考察する。 ２日本の平和主義と冷戦平和主義と日本国憲法第９条、自衛隊と日米安全保障、戦後日本の防衛政策について実際に事象と関連させながら理解する。冷戦後世界の動きと自衛隊の海外派遣の問題について理解し今後の安全保障の課題について考察する。 ３国際平和への課題 現代の紛争と難民問題について　国際機関やNGOの取り組みが求められていることを映像資料や、新聞記事などを活用し理解する。 平和の意味や外交を通じた平和の実現の意味、平和憲法をもつ日本として、国際平和に向けて何をなすべきを多面的に考察する。 ４グローバル化する国際経済 自由貿易、保護貿易、リカードの比較生産費説、国際収支統計、外国為替、国際経済秩序についてのしくみを理解する。南北問題、人口、食糧問題、格差の取り組みについて実際の事象とも関連させながら理解し、世界における取組について考察する。	a:国際社会における、政治と経済、平和にかかわる基本的な概念、しくみについて理解している。 b:国際社会における、国際政治、国際経済、国際平和に関する課題について理解し、意見を交換し、より深い理解を追求できる。 c:国際社会における政治・経済における諸課題について理解を深め、課題について主体的に取組としている。	考査 小テスト	考査 小テスト	ワークシート レポート 感想文

※令和４年度以降入学生用

	持続可能な社会づくりに参画するために	現代社会の諸課題について、探究的な課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を分析したり、考察し、その結果や自分の主張を論拠を明確にして説明、表現する。	a:研究のアウトラインや構成を見とおしながら、必要な資料の収集や整理をしている。 b:資料から明確になったこと、ならなかったことを含め、研究の成果をまとめ、その結果を表現できている。 c:課題を設定し、その解決に向けて、知識、技能を獲得することに主体的に取組としている。	レポート 発表	レポート 発表	レポート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度